

事例6

< 事例概要 >

大腿骨接合術

- ① 80 歳代、体重40 kg 台、心房細動がある患者。抗血栓薬内服中（休薬なし）。血小板数9 万/ μ ℓ 台。
- ② 大腿骨転子部骨折に対し、受傷翌日に骨接合術（髓内釘）を施行。Hb 9 g/dℓ 台で手術直前に赤血球液を投与。
- ③ 牽引体位施行後、血圧低下あり。昇圧薬を投与し、手術可能と判断した。術中、血圧低下あり、心拍数100 回/分台。術中出血量40 mℓ。閉創後の心臓超音波で右室の拡大あり。退室時Hb 8 g/dℓ 台、血圧90 mmHg台、心拍数130 回/分台。造影CT で肺塞栓や大腿骨周囲の血腫なし。
- ④ HCU帰室約30 分後Hb 5 g/dℓ 台。血圧60 mmHg台、昇圧薬の持続投与を開始。約1 時間後、創部出血あり圧迫固定。約2 時間後、赤血球液を投与、経皮的動脈血酸素飽和度（SpO₂）が測定不能となり、瞳孔散大。帰室約3時間後に死亡。
- ⑤ 死因は、出血性ショック。死亡時画像診断（Ai）無、解剖無。